

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ「メディアと子どもの健康について」
- 2 対象 6年児童、保護者
- 3 専門医 池田 博行 医師  
(池田小児科クリニック)
- 4 実施月 6月
- 5 内容(キーワード)  
スマホが子どもにもたらす3つの弊害  
ルールづくり  
利用状況の把握



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

\*「早寝・早起き・朝ごはん、自らメディア・コントロールできる子ども」を目指した取り組みの一環として、親子一緒にねらいに沿ったお話をお聞きすることができた。

②校内の組織づくりについて

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

\*指導部において計画立案を行い、当日は学年部で運営を行うなど、組織的に取り組むことができた。  
\*授業参観に親子学習という形で実施することで、親子一緒に健康課題について考える機会となった。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

\*メディア・コントロールについては、中学校と連携した取り組みを行っている。健康教育についても、9年間を見据えた計画の見直しを行っているため、専門医の講話は参考になった。今後も専門医とのつながりを大事にしていきたい。

〔受講者の感想など〕

- 自分は入眠まで時間がかかるし、ゲームなどを遅い時間にやるので「起立性調節障害」の3歩手前なのかとあせったので、気をつけようと思いました。(児童)
- 我が子は、たまに月曜日に「頭が痛い」ということがあります。「スマホを3時間使うと学習が無駄になる」「その後の脳は回復しないだろう」というお話はショックを受けました。もう一度、子どもとルールを話し合います。(保護者)



〔教科やその他の指導との関連性〕

- 国語(情報教育) 保健(病気の予防) 家庭(生活時間をマネジメント) 道徳(メディア・リテラシー他)
- 「インターネット安全教室」(2年~6年で実施)
- メディア・コントロール生活リズムの取り組み(全校生で実施)